

水土里ネット ながの情報

2023
No. 18
夏号

長野県土地改良事業団体連合会
土地改良のしるべ



CONTENTS

- 令和5年度臨時総会
- 宮崎雅夫参議院議員来県
- 要望行動（県、県議会及び国会議員）
- 農業遺産の紹介
- 県からのお知らせ
- 特集 第64回全国土地改良功労者表彰
受賞地区の紹介 木島平村大塚沖土地改良区
- 写真コンクールについて
- 令和5年春の叙勲受章者
- 人事異動

令和5年度臨時総会

令和4年度決算等の承認

本会は、7月18日、長野市のホテル国際21で、令和5年度臨時総会を開催した。

藤原会長のあいさつの後、来賓の小林農政部長が祝辞を述べ、都道府県水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員からはビデオメッセージをいただいた。

提出された議案は、令和4年度事業報書、貸借対照表、収支決算書及び財産目録の承



臨時総会の様子



情勢報告を行う宮崎議員

認について、令和5年度収入支出補正予算（第1号）（案）議決についての2議案でいずれも原案どおり満場一致で可決された。

総会終了後、土地改良関係者による意見交換会を開催した。意見交換会には、全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎雅夫参議院議員が来賓として出席され、農業農村を巡る情勢報告が行われた。

全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎雅夫参議院議員 上田地域の土地改良関係者と対談

令和5年度7月19日、全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎雅夫参議院議員が来県し、上田地域の土地改良区をはじめとした7カ所で土地改良関係者と意見交換を行った。関係者から地域の課題・要望など様々な意見が挙げられ、活発な意見交換が行われた。



県および県議会議員に要望行動

本会は6月1日、県への要望行動を実施した。

藤原会長、牛越副会長、白鳥専務理事、所常務理事、大村理事、大屋理事、中田理事、峯村理事、小林理事、中澤代表監事、和田監事の11名が出席し、関副知事、小林農政部長、柳沢次長、平林農政技監兼農地整備課長に要望書を提出した。

はじめに藤原会長が「県の農業農村整備予算については地域の要望に応える予算を確保していただき感謝申し上げます。本会としては、今後とも県と連携して農業農村の復興を図るため事業推進に努めてまいります」と述べた。

その後、安定的かつ計画的な事業の推進が可能のように、地域の要望を満たす予算を確保するための国への働きかけをはじめとする要望書の内容4項目について説明を行った。

関副知事より「農業農村整備事業は非常に重要な事業であるため必要な事業を推進するための予算を編成すると共に、国にも要求をしてまいります」との回答をいただいた。また、小林農政部長が3つの項目について県の現状と今後の対応について説明され、本会と連携していきたいと述べられた。

引き続き県議会に出向き、佐々木議長、埋橋副議長に陳情書を提出した。

宮本議長より「陳情いただいた三項目につきましてはいずれも重要な課題であり、県議会でも所管の委員会ですら十分な審議をして対応していきたい」との回答をいただいた。



要望の様子



左から牛越副会長、埋橋副議長、佐々木議長、藤原会長

4つの要望項目

1. 収益性向上を図る農地の条件整備や、農村地域の防災・減災対策などが安定的・計画的に実施出来るよう、地域の要望を満たす予算を確保すること
2. 農業競争力強化のため、スマート農業に対応した基盤整備や農業農村インフラ管理の省力化・高度化の更なる推進を図ること
3. 多面的機能支払交付金及び中山間地域農業直接支払事業の予算確保と制度の継続について国への働きかけを行うこと
4. 地域の多様なニーズに対応した整備を継続するため、農業農村工学技術者の確保・育成のための支援を推進すること

国会議員への要望行動

本会は6月15日、県選出の国会議員に対して、以下の3項目について要請行動を実施した。藤原会長、所常務理事、大屋理事を始め、県内土地改良区女性職員が出席し、若林健太衆議院議員、務台俊介衆議院議員、井出庸生衆議院議員、後藤茂之衆議院議員（秘書対応）、宮下一郎衆議院議員、進藤金日子参議院議員（秘書対応）、宮崎雅夫参議院議員へ要望書を手渡した。当日は県内改良区の女性職員からも、スマート農業導入や施設改修に向けた予算の確保など、様々な課題・要望が挙げられ活発な意見交換となった。

各先生より、農業農村整備事業の重要性は十分に理解しており、引き続き予算の確保に努める旨の回答をいただいた。



若林健太衆議院議員



井出庸生衆議院議員



宮下一郎衆議院議員



務台俊介衆議院議員



宮崎雅夫参議院議員

3つの要望項目

1. 収益性向上を図る農地の条件整備や、農村地域の防災・減災対策などが安定的・計画的に実施出来るよう、地域の要望を満たす予算を確保すること
2. 農業競争力強化のため、スマート農業に対応した基盤整備や農業農村インフラ管理の省力化・高度化の更なる推進を図ること
3. 県土強靱化や農村地域の多面的機能維持・保全のため、中山間地域の農業農村整備の更なる推進と中山間地域農業直接支払事業の継続を図ること

善光寺用水・善光寺平用水

管理者：長野県善光寺平土地改良区

土地改良区の概要

- ・所在地 長野市七瀬25番地3
- ・関係市町村 長野市
- ・設立年月日 昭和26年6月27日
- ・受益面積 396 ha (R5.4.1 現在)
- ・組合員 2,016人 (R5.4.1 現在)

地域に愛される“ホタルの棲む川”

長野市のほぼ中央に位置する善光寺平は、名前の由来でもある善光寺とその門前町を中心に市街地・商業地域が発展し、その周辺部に住居地域があり、さらにその周辺部に耕地が広がっています。そのため、この地域を潤す善光寺平用水の用水路施設は、全国的にも珍しく、用水上流域にある都市部の市街地を通過して、その下流域に広がる農村地帯をかんがいでいます。

用水の概要

市街地を流下する裾花川用水

中部電力が管理する里島発電所の放水を里島取水口で取水し、延長約1.3kmの裾花川幹線導水路を流下し受益地に配水しています。

環境や生物に配慮した設計の裾花川用水の用水路にはホタルが生息しており、「長野ホタルの会」協力のもと、地域全体で保全活動に努めています。こうした取組が目ざされ、平成18年には農林水産省から疏水百選にも認定されました。



裾花川幹線導水路（善光寺用水）

- 善光寺平土地改良区管理
- 善光寺川中島平土地改良区連合管理
- 在来用水路

水系図



景観に配慮した市街地を流下する用水路

犀川水系

犀川水系は二堰分水工（水系図中“流入口”）以降全て暗渠化されており、裾花川水系下流の在来用水路と交差し、分水・補水しながら市街地の地下を流下します。



二堰分水工（善光寺平用水）

長野県善光寺平土地改良区の西澤理事長、久保田参事にお話を伺いました

○管理について

裾花川水系では、水路が市街地を流下する関係上、都市部においては生活排水や雨水排水を受け入れる排水路としての役割を兼ねているため、増水が予想される際には長野市の河川課と連携し、農業用水の取水量を減らし雨水を排水するといった対応をしています。

○今後の課題・展望について

各分水施設の電気設備が老朽化しており、定期的な調査を行い状況を整理して、計画的なメンテナンスを実施していく必要があります。造成当時から相当な年数が経過し時代も変わっているので、今の管理に求められているものを可能な範囲で対応していきたいと考えています。

支線の在来用水路を管理している用水組合の方々はもちろん理解していただいていると思いますが、地域住民の方にも、雨水や都市排水の受け入れ機能を果たす私たち土地改良区の活動を理解していただくPR活動等が今後重要になってくると感じています。地元の小学校から要望があれば、改良区職員が講師となり、改良区や用水路の役割について学んでもらう授業を実施していますが、こうした若い世代に用水について知ってもらおう活動も継続していきたいと考えています。

長野県農業農村整備計画
(第9次長野県土地改良長期計画)

信州の水・土・里が織りなす
未来につづく農業・農村



長野県農政部



農林水産省が策定した土地改良長期計画との整合を図りつつ、第4期長野県食と農業農村振興計画の実行計画として、基本方向の達成に向けた成果目標と計画期間(2023年度～2027年度)に取り組む具体的な政策の展開内容を示しました。

計画策定：令和5年3月 冊子発行：令和5年7月

～めざす姿～

基本方向1 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

生産性の高い農地整備と農業用水の安定供給により、稼げる産地を次代につなぐ農業の展開を目指します。

基本方向2 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

ため池の耐震化や豪雨への備え、農業水利施設等の適切な保全管理体制づくり、中山間地域の特色を活かした地域振興と生活環境の整備等により、安全安心で暮らしが持続する農村環境をつくります。

基本方向3 農的つながり人口の創設・拡大による農村づくり

疎水や棚田など農業資産を学びや観光へ活用しながら、農業者のみならず 多様な人々がつながり共に支える、農地・農村環境を保全する体制を築きます。

長野県農業農村整備計画

検索



<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/seibikeikaku.html>

「長野県農業農村整備計画

基本目標

信州の水・土・里が織りなす

基本方向1

次代を担う産地を支える基盤整備の推進

達成指標	現状 (R3年度)	目標 (R9年度)
農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	37か所	66か所

(1) 生産効率の高い農地の整備

- 大型機械の導入や自動走行農機の活用を可能とするため、水田の再区画整理や畦畔除去による区画拡大を進めます。
- 農地中間管理事業を活用して、担い手への農地集積・集約を進めます。
- 用排水路のパイプ化やICTの活用による水管理の省力化に向けた整備を実施します。

(2) 収益性の高い農地の整備

- 収益性の高い農産物の品質向上と安定生産のため、樹園地の平坦化や、農産物に応じたかんがい方式の整備を進めます。
- 野菜などの高収益作物の導入に向け、排水施設の整備更新や土層改良による排水機能の向上を図るとともに、地下水制御システム「FOEAS」の導入を推進し、水田の汎用化を図ります。

(3) 用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新

- 農業水利施設の適切な保全管理と頭首工や水路橋など、損壊等により営農や生活に与える影響が大きい重要構造物の耐震・長寿命化を進めます。
- 受益地の面積や栽培作物の見直しによる必要用水量の変更に応じ、揚水ポンプの小規模化や施設の統廃合など、適切な規模での施設更新を実施します。



地すべり防止施設の長寿命化



頭首工など重要構造物の耐震・長寿命化



かん水方式の改良による

基本方向2

安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

達成指標	現状 (R3年度)	目標 (R9年度)
防災重点農業用ため池の対策工事の完了箇所数	57か所	127か所
水門を自動化・遠隔化した農業水利施設の箇所数	48か所	84か所
農業用水を活用した小水力発電の設備容量	4,103kW	5,100kW

(1) 災害から暮らしを守る農村の強靱化

- 安全安心な暮らしを守るため、ため池等の地震・豪雨対策、排水機場の更新・増強、地すべり防止施設の長寿命化など、防災・減災対策を進めます。



- 長野県ため池監視システムの構築を支援します。
- 流域治水におけるため池やの取組を進めます。

◆土地改良区における男女共同参画推進

令和2年度に「第5次男女共同参画基本計画」が策定され、2025年度を占める女性の割合を10%以上とする目標が設定されました。県内の状況は前県では女性理事の登用促進を図るための相談窓口を設置しておりますので、登用に向けた取組をお願いします。

(第9次長野県土地改良長期計画)」を策定しました

未来につづく農業・農村



ため池の耐農工事



取水・分水ゲートの自動化



棚田などの魅力を全国へ発信

基本方向 3

農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

達成指標	現状 (R3年度)	目標 (R9年度)
地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	49,343ha	50,200ha

- 農村地域の資源や環境を次代へ引き継ぐため、農家のみならず地域住民や都市住民も含めた農村を支える多様な担い手の確保と、地域ぐるみで行う共同活動を支援します。
- 歴史的な排水、ため池、棚田等の農業資産を観光資源とする取組や、地域学習へ活用する取組を支援します。



樹園地の平坦化による生産性の向上



農業用水を活用した小水力発電



排水など農業資産を観光に活用



スプリンクラー散水



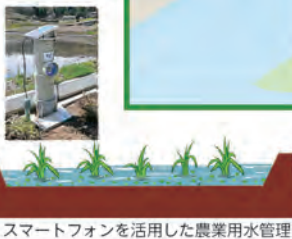
ほ場の区画拡大による大型機械の導入



地域住民との協働による水路周りの草刈り



排水等の歴史を地域学習に活用



スマートフォンを活用した農業用水管理



排水機場ポンプ設備の更新



特産品加工施設など農村生活環境の整備

を活用した緊急避難体制

水田を活用した雨水貯留

(2) 住みやすい農村を支える農村基盤整備

- 管理者による水門管理の省力化を図るため、水門の自動化・遠隔化を推進します。
- 小水力発電施設の建設を進め、売電収益等による農業水利施設の維持管理費を低減します。

●農地と水を守っている土地改良区の人材育成や運営強化を図る取組を支援します。

●中山間地などの条件不利地域では、きめ細かな農地の条件整備（区画整理、用排水路、農道等）、生活環境整備（集落道路、特産品加工施設等）を進めます。

について

標年度に土地改良区（連合）における理事に年と比べ0.5%と変わりませんでした。最寄の地域振興局までご相談頂く等女性理事

項 目	目標値 (期限)	令和3年度末の数値	令和4年度末の数値
女性理事が登用されていない組織数	0 (2025年度)	108/114	107/113
理事に占める女性の割合	10% (2025年度)	0.5%	0.5%

※女性理事登用状況最新値は、「土地改良区設立状況調査」（令和5年3月末時点）による

全土連会長表彰 木島平村大塚沖土地改良区

木島平村大塚沖土地改良区の受益地は、飯山盆地の南東部に位置し、千曲川右岸の氾濫原と、樽川、馬曲川の形成した扇状地からなる西南傾斜の水田地帯です。

木島平村は多雪で湿地帯という条件から、米を主体として野菜類の栽培や畜産が営まれており、米の産地として市場から高い評価を得ています。

令和4年度第64回全国土地改良功労者表彰で「全土連会長表彰」を受賞した木島平村大塚沖土地改良区の梅寄理事長に土地改良区の今後の展望や課題についてお話を伺いました。



梅寄理事長



これまでに取り組んできた主な事業

昭和37年に前身となる木島平土地改良区を設立し、積寒土地改良事業として区画・農道・用排水路整備を実施。事業は樽川及び馬曲川の扇状地が急傾斜地であり、石砕層の地質および湧出する多量の伏流水という悪条件を克服し、8年の歳月をかけて行われました。

平成7年度から13年度にかけては第2次土地改良事業として県営担い手育成基盤整備事業を実施し、区画整理工による農地の大区画化、幹線道路と広域農道の整備、パイプラインや自動給水栓の導入等を総合的に行い、安定した農業経営を推進しています。



大塚(写真中央)を囲む改良区の受益地



施設の維持管理

用水源の3つのため池からパイプラインで受益地へ配水しており、ため池からの配水量の調整を改良区で行う他、ため池の貯水量に応じて、下流の排水路からポンプアップする揚水機の管理も行っています。水路の管理については年に2回、泥上げ、法面の草刈り等を組合員だけでなく地域全体で行っています。



ほ場に設置された自動給水栓(左)と揚水機場(右)



本土地改良区の特徴

◆組合員向け会報誌の発行

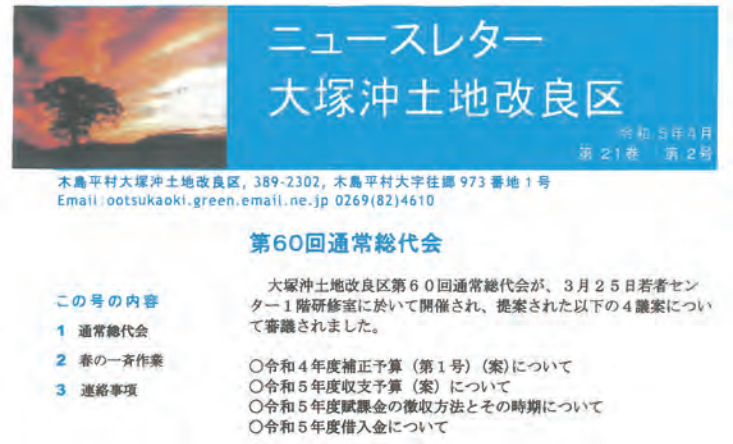
年3回、総代会後に事業計画や予算状況といった情報をまとめた会報誌を作成し、組合員に配布しています。

また、給水開始前には、水利用についてかけ流し（自動給水栓から水を出したままにすること）等は避けて、無駄なく水管理していただくよう呼びかけを行っています。

◆多面的機能支払制度の活用

受益地内では、多面的機能支払交付金事業の活動組織として、大塚沖愛護会が立ち上げられ、89haを対象に活動しています。改良区組合員のほか、自治会、育成会、夏祭り実行委員会、耕作組合等が構成員となり、泥上げや草刈りの維持管理活動を始め、花桃や草花の植栽（フラワーロード）、ゴミ拾いといった環境整備に取り組んでいます。

改良区で維持管理している施設の点検を年2回行い、改修の必要があれば長寿命化工事を実施します。改良区と活動組織の事業分担が円滑に図られ、改良区の負担軽減に繋がっています。



ニュースレター大塚沖土地改良区



水路の泥上げ・草刈り



今後の展望や課題

水管理については、3つのため池だけでは賅いきれない部分があり、揚水機ポンプの稼働も電気料金高騰の影響が大きいため、今後は今あるパイプラインを上手に使用して、限られた水資源を効率的に使っていきたいです。

現在は各ほ場に設置された自動給水栓で耕作者各々が水を使用していますが、限られた水資源であるという意識を全員で持って頂かないと、全部のほ場に水をいきわたらせることが出来ません。

今後は自動給水栓ごとではなく、パイプライン単位で管理者を決めて配水を行うといった仕組みも検討しています。

木島平村大塚沖土地改良区

- ・所在地 下高井郡木島平村大字 往郷973-1
- ・関係市町村 飯山市・木島平村
- ・設立年月日 昭和37年11月6日
- ・受益面積 109ha (R5.4.1 現在)
- ・組合員 200人 (R5.4.1 現在)

第3回 水が伝える豊かな農村空間～疏水・ため池のある風景～ 写真コンテスト

主催 疏水ネットワーク、全国ため池等整備事業推進協議会及び全国土地改良事業団体連合会

募 集 要 項

募集期間 2023年7月28日(金)～2023年12月11日(月)(必着)

◆概要

「疏水」や「ため池」と共に、四季の織りなす景観や生活の様子など、身近で大切な農業用水のある風景を題材とした写真コンテストを開催します。奮ってご応募ください。

◆募集作品

令和5年1月以降に撮影した未発表のものに限り、農業水利施設、農業用水が写っていることが条件です。

- ・ 疏水部門 用水路、頭首工、スプリンクラー、貯水池（農業用ダム）などの農業水利施設
- ・ ため池部門 農業用ため池（農業用水として貯留水が現に使用されているため池）

◆応募方法

応募サイズ：四つ切り又は四つ切りワイド

応募数：1人各部門3点まで（最大6作品）

[応募要領など詳細は全国水土里ネットホームページから確認してください。](#)

◆問い合わせ先

全国土地改良事業団体連合会

第3回「水が伝える豊かな農村空間

～疏水・ため池のある風景～」写真コンテスト係

TEL：03-3234-5480



2023最優秀賞 疏水部門「夕照の水郷」



令和5年 春の叙勲受章者

瑞宝双光章 織井 秀夫

元 伊那市職員
伊那市春富土地改良区理事長
三峯川沿岸土地改良区連合理事長
功績 土地改良事業功労・地方自治功労

令和5年春の叙勲が令和5年4月29日付けで発表され、(前)伊那市春富土地改良区理事長の織井秀夫氏が、瑞宝双光章を受章された。

氏は、伊那市職員を経て、長野県西部伊那土地改良区事務局長、伊那市春富土地改良区理事長、三峯川沿岸土地改良区理事長を歴任され、伊那地域の農業生産基盤の確立と地域の発展に貢献された。

県営かんがい排水事業春富6号地区では、農業用水を活用した小水力発電所の建設に向けて関係機関との調整に尽力し、売電収入を施設維持管理に活用するなど、組合員の負担軽減に大きく寄与した。

6月30日には、伊那市長を始め多くの関係者が出席の上、受章記念祝賀会が挙行された。



小学生に土地改良区の仕事进行説明する織井氏

◎人事異動(農林水産省)

農林水産省農村振興局 (7月4日付)

	局長(大臣官房審議官兼経営局付)	長井 俊彦
	次長(農村振興局整備部長)	青山 健治
農村政策部		
都市農村交流課	農福連携推進室長(経営局就農・女性課女性活躍推進室長)	渡邊 桃代
整備部	部長(農村振興局整備部水資源課長)	緒方 和之
水資源課	課長(農村振興局整備部設計課付)	瀧川 拓哉
	農業用水対策室長(農村振興局整備部防災課防災・減災対策室長)	渡邊 雅彦
農地資源課	経営体育成基盤整備推進室長(大臣官房秘書課付)	渡辺 一行
地域整備課	課長(国土交通省北海道開発局旭川開発建設部長)	武井 一郎
防災課	課長(農村振興局整備部付)	石井 克欣
	防災・減災対策室長(輸出・国際局国際経済課上席国際交渉官兼輸出・国際局国際地域課付)	渡部 和弘

農林水産省農村振興局 退職 (7月4日付)

次長	安部 伸治
----	-------

農林水産省関東農政局 (7月4日付)

次長(関東農政局農村振興部長)	佐々木明德
農村振興部 部長(農村振興局整備部地域整備課長)	香山 泰久

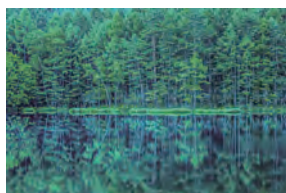
◎人事異動(長野県土地改良事業団体連合会)

長野県土地改良事業団体連合会 (7月1日付)

本部事務局事業課	技術係技師(本部事務局事業課技術係備用職員技師)	廣瀬 竜司
佐久支所	技術係技師(本部事務局事業課技術係備用職員技師)	宮川 唯織
南信事業所	技術係技師(本部事務局事業課技術係備用職員技師)	間澤 隆之
中信事業所	技術係技師(本部事務局事業課技術係備用職員技師)	堀内つくし
北信事業所	技術係技師(本部事務局事業課技術係備用職員技師)	寺嶋 飛雄

長野県土地改良事業団体連合会 退職

(5月31日付)	本部事務局総務企画課副参事兼課長補佐兼総務係長	中村 雄二
(7月31日付)	南信事業所指導幹	鹿野 秀行



表紙写真紹介 ————— 御射鹿池(茅野市豊平)

日本画の巨匠・東山魁夷画伯の作品「緑響く」の題材として有名なため池で、木々の緑を移すコバルトブルーの水面は訪れる人々を魅了しています。冷害常襲地のうえ、渋川の水は強酸性でしたが、ため池で水を希釈し温めることによって、こめの収穫量は大きく増加しました。湖底には酸性水を好むチャツボミ苔が繁茂し、湖面には木々がきれいに映り、「ため池百選」に選定されています。

文：信州の農業遺産魅力ガイドより(長野県 農政部 農地整備課 発行)



みどり
水と里ネットながの
土地改良のしるべ

発行：令和5年9月（年4回発行）
発行所：長野県土地改良事業団体連合会
〒380-0838 長野市大字南長野字宮東452番地の1
TEL026-233-4281 <http://www.nag-doren.or.jp>
土地改良のしるべ編集人：白鳥 公晴